偉大な祖国解放戦争勝利70周年に際して

戦勝をもたらした
偉大な総帥

偉大な祖国解放戦争勝利70周年に際して

戦勝をもたらした
偉大な総帥

朝鮮民主主義人民共和国・外国文出版社
チュチェ112(2023)

祖国解放戦争を勝利へと導いた
偉大な領袖金日成同志

祖国解放戦争での勝利は、金日成（キムイルソン）同志の卓越した軍事思想とチュチェ戦法、絶妙な戦略・戦術の勝利であり、金日成同志の呼び掛けに応えて祖国を守るために生命をも惜しみなくささげて戦ったわが軍隊と人民の燃えるような愛国心と百折不撓の闘争精神の勝利でもあります。

金正恩（キム ジョン ウン）

チュチェ112(2023)年7月27日は、朝鮮人民がアメリカ帝国主義の武力侵攻を撃退し、祖国解放戦争で勝利を収めてから70周年に当たる日である。

祖国解放戦争(1950･6･25〜1953･7･27)は、朝鮮民主主義人民共和国にとって領土と人民を守るための生死存亡の祖国防衛戦であり、第2次世界大戦以降、民主主義陣営と帝国主義陣営が対立した両極間の初めての激烈な対決戦であった。

人口と領土はもちろん、武力装備や経済力をはじめとするあらゆる面で彼我の関係が比べものにならなかったこの戦争で、創建されて2年足らずのわが共和国が世界「最強」を誇るアメリカ帝国主義とその追随勢力の侵略を撃退し、領土と自主権を血をもって守り抜いたのは、朝鮮の民族史と世界革命史に特筆すべき出来事であった。

祖国解放戦争での勝利は、金日成主席の卓越した軍事思想と戦略・戦術、チュチェの軍事戦法と用兵術の輝かしい勝利であり、領袖の周りに固く団結して決死抗戦に立ち上がった全人民の闘争精神と無比の勇敢さ、集団的英雄主義の結実であった。

人民大衆の剛毅な精神力を戦争勝利の決定的要因と見なした主席は、「全てを戦争の勝利のために！」というスローガンを提示し、全ての人民と人民軍軍人を祖国防衛の聖戦に決起させた。

主席は、敵の不意の侵攻に対処した即時的かつ決定的な反攻撃戦と正規軍の部隊による第２戦線の形成、積極的な陣地防御戦と坑道戦、飛行機狩り組運動をはじめとする独創的な戦略・戦術と戦法を編み出して、常に戦争の主導権を握り、敵の数的・技術的優勢を政治的・思想的、戦略・戦術的優勢をもって打ち破った。

厳しい戦争の日々、戦う兵士たちのための火線休養所を設け、全般的無料治療制も実施するなど、人民と人民軍軍人の生活に深い関心を払った金日成主席の慈愛は、平凡な人々を不屈の勇士に育て上げ、英雄的偉勲へと鼓舞・激励した原動力であった。

それゆえ、金日成主席がいさえすれば必ず勝つという信念を持って火を吐く敵のトーチカの銃眼を胸で塞いで部隊の進撃路を開いた人民軍兵士たちと、敵機の猛爆の中でも兵器と弾薬を生産し、食糧の増産と戦時輸送に励んだ後方の人民の百折不撓の闘争は侵略者に恐ろしい恐怖と絶望を与えた。

祖国解放戦争で勝利することによって、朝鮮人民は共和国の尊厳と名誉、自主権を守り抜き、国家の自主的発展の環境を確実に保障し、アメリカ帝国主義者の世界制覇戦略の実行を阻止し、新しい世界大戦を防いで人類の平和を守った 。

祖国解放戦争での朝鮮人民の勝利は、卓越した領袖に導かれると人々も偉大な人民となり、国も強力な国家になるという真理、領袖と人民が一心団結した力にかなう者はこの世にないという真理を歴史のページに記した。

朝鮮人民は、1950年代の戦火の日々に生み出された祖国防衛精神をチュチェ朝鮮の永遠なる必勝の霊剣、貴い思想的・精神的遺産として代を継いで継承している。

「全ての力を戦争の勝利のために」……8
厳しい試練を乗り越え、新たな反攻撃へ……28
勝利した明日のために……64
戦争の最終的勝利のために……80
偉大な勝利の7・27……134

1950年6月25日

アメリカ帝国主義と李承晩かいらい一味は
共和国北半部に対する侵略戦争を引き起こした。

「全ての力を戦争の勝利のために」

朝鮮戦争を引き起こした米国は「電撃戦」によって共和国北半部を一挙に占領しようとしたが、それは誤算であった。

戦争が開始された1950年6月25日の朝、金日成主席は内閣非常会議を招集し、人民軍は敵の侵攻を食い止め、即時決定的な反攻撃戦に移って武力侵攻者を撃滅しなければならないとし、わが党と共和国政権があり、強力な人民軍と強固な後方があり、国際的な支持と声援がある以上、われわれは必ず勝利するだろうと確言した。

アメリカ帝国主義が本土から大兵力を引き入れるには少なくとも1カ月以上の期間がかかり、日本にある米軍の兵力を朝鮮戦線に投入しようとしても一定の時間を要するということを見通した金日成主席は、敵の大兵力が朝鮮戦線に投入される前に高い機動力と連続的な攻撃によって敵の基本集団を短時日内に撃滅・掃討し、共和国の南半部を完全に解放するという戦略的方針（祖国解放戦争第1段階　1950･6･25〜9･15）を提示し、その実現のための闘争を正しく導いた。

1950年6月26日、金日成主席は全ての朝鮮人民に「全ての力を戦争の勝利のために」という歴史的な放送演説を行って、戦争の勝利を勝ち取る闘争へ人民軍の将兵と人民を立ち上がらせた。

直ちに全国に戦時体制が確立するとともに、前線への出征を志願する全人民的な運動が繰り広げられ、人民軍の作戦が相次いで展開された。

この過程に人民軍は、ソウル解放作戦戦闘、注文津海戦、大田解放作戦、洛東江渡河戦闘など数多くの作戦と戦闘を行って、1カ月半余りの間に共和国の南半部全域の90%以上と人口の92%以上を解放した。

共和国の南半部の解放地域では人民政権が樹立され、党及び勤労者団体が立て直され、土地改革や労働法令をはじめとする民主諸改革が実施された。

全朝鮮人民に「全ての力を戦争の勝利のために」と題する放送演説を行う金日成主席
チュチェ39(1950)年6月

前線への出征を志願する平壌市の青年たち

金日成総合大学の学生の前線への出征志願決起集会

前線への出征を志願する咸興市の青年たち

1950年6月26日～8月15日　共和国北半部で84万9000余人が前線への出征を志願

ソウル市内へ突入する人民軍戦闘員たち

かいらい「中央庁」に
高く翻る共和国の旗

開戦3日後、敵の牙城ソウルを解放

開戦後わずか3日目にしてソウルが解放され、人民軍が敵中深くへ早く進出できる決定的に有利な条件が整えられた。

義勇軍への入隊を志願するソウル市の青年たち

前線に出向く義勇軍の隊伍

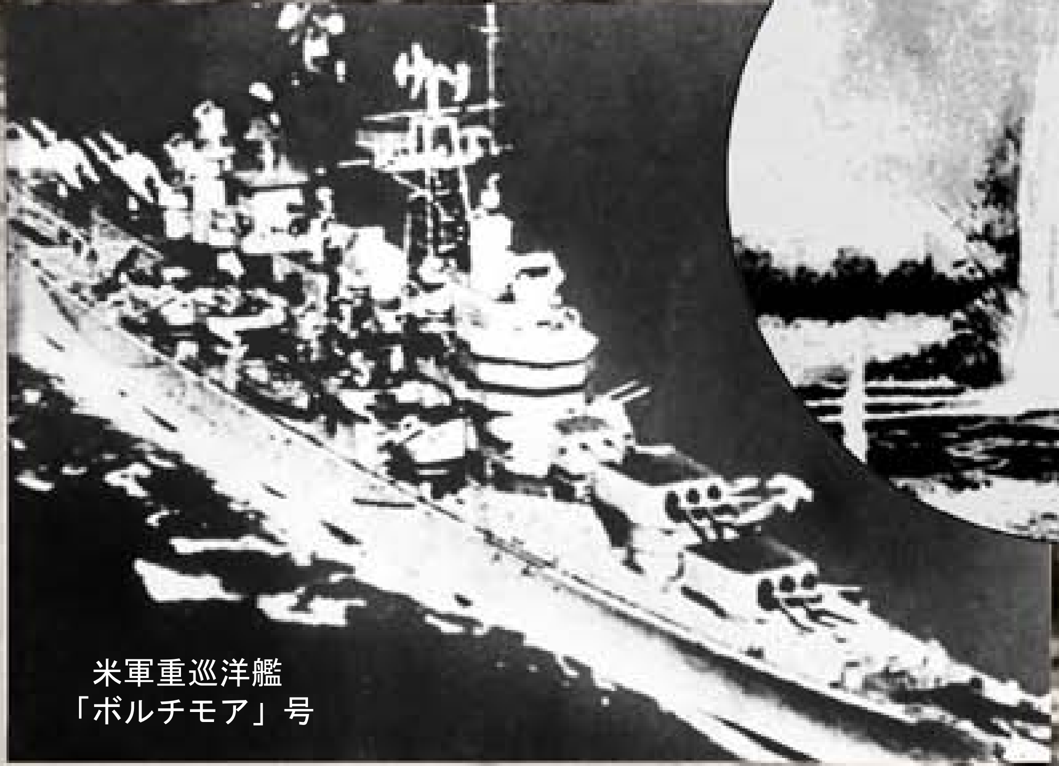
人民の歓迎を受けながら
ソウル市内に入る人民軍
戦闘員たち

世界海戦史の奇跡―注文津海戦

朝鮮人民軍海兵は4隻の魚雷艇をもって米軍重巡洋艦「ボルチモア」号を撃沈し、1隻の軽巡洋艦を撃破する世界の海戦史上たぐいのない戦果を上げた。

海上戦闘任務を討議する指揮官たち

戦闘を控えて魚雷を装着する海兵たち


米軍重巡洋艦
「ボルチモア」号

「不退の線」の突破―錦江渡河戦闘

アメリカ帝国主義が「不退の線」「最終的防御線」と豪語していた錦江防御線は、人民軍の猛烈な攻撃によって2日ぶりに砂城のように崩れてしまった。

錦江を渡河する人民軍戦闘員たち

敵の退路を遮断するために険しい山を越える
人民軍戦闘員たち

大田に向かって進撃する人民軍戦闘員たち

現代包囲戦の輝かしい模範―大田解放作戦

朝鮮人民軍勇士たちは、敵が「臨時首都」と定めて莫大な兵員と兵器、戦闘技術機材を集結した大田を完全に包囲し、小部隊による先制攻撃や奇襲戦、各方面での強力な同時攻撃によって敵を掃滅した。

「常勝師団」と称していた米第24歩兵師団は大田で完全に壊滅し、戦場から逃げ出してさ迷っていた師団長ディーンは人民軍兵士に捕らわれた。

人民軍兵士に捕らわれた
米第24歩兵師団長ディーン

解放なった共和国の南半部での人民政権の樹立と党及び勤労者団体の立て直し、民主諸改革の実施

朝鮮民主青年同盟春川市委員会結成大会

労働法令を支持する全羅北道の人民

土地の分与を受けた喜びにあふれて行進する
共和国南半部の農民たち

解放地域に樹立された人民委員会

厳しい試練を乗り越えて
新たな反攻撃へ

1950年9月中旬、戦争の形勢は急変した。
アメリカ帝国主義は太平洋方面の陸・海・空軍及び地中海艦隊の一部、米本土の地上軍、それに追随国の軍隊まで朝鮮戦線に投入し、洛東江界線での「総攻勢」を企図する一方、大兵力を動員して仁川上陸作戦を強行した。
敵は、わが方の前線と後方を遮断し、前線の人民軍主力部隊を包囲・掃滅して短時日内に全朝鮮を占領しようと企んだ。
敵の企図と弱点を見抜いた金日成主席は、戦争の一時的難局を主動的に打開するための戦略的方針(祖国解放戦争第2段階　1950・9・16〜10・24)を提示し、その実現のための闘争を導いた。
1950年10月11日、主席は全ての朝鮮人民に「祖国の寸土を血潮をもって死守しよう」と題する歴史的な放送演説を行い、全ての人民と人民軍を当面の危機を打開する闘争に決起させた。
主席の賢明な指導によって戦略的かつ一時的な後退が成功裏に行われ、人民軍部隊が拡大・強化されて新たな反攻撃の準備が整った。
これとともに、敵の背後に正規軍の連合部隊による強力な第２戦線が形成され、人民遊撃隊が組織されて敵背後での戦闘が活発に行われ、戦局の根本的な転換がさらに早まるようになった。
1950年10月下旬、金日成主席は強力な反攻撃戦を行うという戦略的方針(祖国解放戦争第3段階　1950・10・25〜1951・6・10)を提示し、その実現のための闘争を正しく指導した。
また、朝鮮労働党中央委員会第3回総会で党・国家及び軍隊内に革命的規律を強化し、軍事分野において主体性を確立する問題など、戦争の勝利のための課題を提示した。
戦争第3段階の期間に主席の指揮の下で5回の大規模の作戦が相次いで行われた。
人民軍部隊と第2戦線部隊との緊密な協同行動の下に清川江以北地域における強力な反打撃戦、清川江、長津湖畔、清津地域における敵軍包囲掃滅作戦、麟蹄—車坪里一帯と県里地域における敵包囲掃滅作戦、第2戦線部隊と人民遊撃隊及び青年近衛隊、少年近衛隊による敵背攪乱作戦などが行われ、一時敵に占領されていた共和国北半部の全域を解放し、敵を38度線以南に駆逐した。

戦局の一大転換をもたらす構想を練る金日成主席　チュチェ39(1950)年11月

新たな反攻撃作戦を指揮していた
時期の金日成主席
チュチェ39(1950)年11月

朝鮮労働党中央委員会第3回総会

朝鮮労働党中央委員会第3回総会を指導する金日成主席　チュチェ39(1950)年12月

1950年12月、朝鮮労働党中央委員会第3回総会が招集された。

金日成主席は総会で「現情勢と当面の任務」と題する歴史的な報告を行い、結語を述べた。

主席は報告で、戦争の過程で生じた軍事政治情勢の大きな変化と戦争の各段階において朝鮮労働党が講じた対策、そして党の指導の下に朝鮮人民と人民軍が展開した英雄的闘争を全面的に分析し、祖国解放戦争の最終的勝利を達成するために党に提起されている当面の政治的・経済的・軍事的任務を示した。

主席は結語で、勝利に自己満足してはならず、今後さらに力強く戦う覚悟を固め、敵にせん滅的打撃を加える準備を整えるべきだとし、反攻撃戦で勝ち取った勝利を固め、敵に対する攻撃を引き続き強化する問題、党を強化しその役割を強める問題、統一戦線活動を強める問題、人民生活を安定させ、破壊された経済を復興する問題など、具体的な任務を示した。

朝鮮労働党中央委員会第3回総会は、党・国家及び軍隊内に革命的規律を強化し、軍事分野において主体性を確立し、前線と後方を強固にして戦争の新しい勝利を収める上で大きな歴史的意義を持った。

新しい作戦任務を与える金日成主席　チュチェ40(1951)年2月

祖国解放戦争の勝利を楽観する金日成主席　チュチェ40(1951)年4月

前線を訪れて人民軍戦闘員と
話し合う金日成主席
チュチェ40(1951)年4月

前線を訪れて海岸の防御を強化する課題を示す金日成主席　チュチェ40(1951)年4月

共和国英雄及び模範戦闘員と話し合う金日成主席　チュチェ40(1951)年6月

共和国英雄姜浩英の政治担当副中隊長に会う金日成主席
チュチェ40(1951)年6月

人民軍戦闘員に会う金日成主席　チュチェ40(1951)年6月

戦争の一時的な難局を打開、祖国の寸土を血をもって死守

朝鮮人民軍の勇士たちは、洛東江界線と仁川—ソウル地区で数量の上で比べようもなく優勢な敵を撃退するために苛烈な戦闘を展開した。

朝鮮人民軍の1個海岸砲中隊と1個歩兵中隊の勇士たちは、敵の5万余の兵力と約1000機の航空機、300余隻の艦船を相手に仁川の関門である月尾島を3日間も守ることによって、敵の仁川上陸を阻止させることに大きく寄与した。

ソウル地域の朝鮮人民軍部隊は敵の攻撃を14日間も阻止させることによって、ソウルを3～5日以内に「速戦即決」で占領し、わが軍の前線と後方の連携を断ち切り、洛東江前線に進出した人民軍主力部隊を包囲せん滅しようとする敵の企図を完全に破綻させた。

強力な反突撃によって仁川地域に侵入した敵を掃滅する人民軍戦闘員たち

月尾島に猛爆と艦砲射撃を加える米軍

大連合部隊による第2戦線の形成

第2戦線部隊を助けて
弾薬と食糧を運ぶ
人民

敵中闘争を積極的に展開するための対策を
討議する人民軍戦闘員たち

敵中闘争で偉勲を立てる確信に満ちている
人民軍戦闘員たち

人民遊撃隊の敵中闘争

人民軍と協同作戦を討議する谷山
人民遊撃隊員たち

被占領地域で遊撃闘争を展開する
平康人民遊撃隊員たち

敵に猛射を加える端川人民
遊撃隊員たち

敵の指揮部を襲撃する九月山
人民遊撃隊員たち

故郷を守って勇敢に戦った華川少年近衛隊員たち

敵を撃つ方法を討議する趙玉姫
少年近衛隊員たち

新しい戦闘任務を討議する西平壌青年近衛隊員たち

青年近衛隊と
少年近衛隊の敵中闘争

偵察任務を遂行する安州炭鉱少年近衛隊員たち

新しい反攻撃兵力を準備

　金日成主席は、朝鮮の北部内陸地帯を反撃の発進基地に選定し、敵の包囲を突破して北上してきた朝鮮人民軍主力部隊を根幹にし、新たに組織される予備部隊を編入させて複数の軍団を編制した。

　これとともに、空軍・海軍部隊と各兵種部隊の拡大・強化、人民軍軍官の養成と技術兵種指揮官の養成も積極的に推し進めた。

　そうして強力な反攻撃兵力が短期間に準備された。

総反攻撃戦によって敵の軍事的攻勢を粉砕

1950年10月下旬、朝鮮人民軍の反攻撃が準備されるにつれて戦争は新しい段階に入り、人民軍部隊は戦局の根本的な転換のための軍事作戦を行った。

人民軍部隊は、前線西部の清川江以北で強力な反攻撃戦を繰り広げて敵に甚大な打撃を与え、前線東部では頑強な防御で敵の攻撃を阻止させて、感謝祭以前に全朝鮮を占領しようとした敵の「感謝祭攻勢」を破綻させた。

全前線にわたって総反攻撃に移った人民軍部隊は、清川江と長津湖畔一帯で敵の集団を包囲せん滅したのをはじめ、第２戦線連合部隊との緊密な提携作戦の下に成果を拡大することによって、敵の新しい「クリスマス総攻勢」を粉砕し、敵に一時的に占領されていた共和国北半部の全域を解放した。

長津湖畔戦闘で捕虜になった侵略者たち

敵を37度線以南へ駆逐

ソウル市内に突入する人民軍戦闘員たち

ソウル市で捕虜になった米軍

市街戦を繰り広げる
人民軍戦闘員たち

敵の防御線を突破する人民軍戦闘員たち

元山市内に突入する人民軍戦闘員たち

臨津江を渡河する人民軍戦闘員たち

攻撃と防御を組み合わせて敵の軍事的攻勢を粉砕

敵を掃滅する人民軍戦闘員たち

麟蹄—車坪里戦闘で敵を掃滅する人民軍
戦闘員たち

古沙里界線で敵に命中弾を浴びせる人民軍
戦闘員たち

勝利した明日のために

祖国解放戦争における奇跡は戦闘でのみ生み出されたのではない。
戦後復興建設のための遠大な構想も戦争の砲火の中で示され、その設計図が出来上がった。
1950年12月、金日成主席は朝鮮労働党中央委員会第3回総会で戦後人民経済復興建設の構想を示した。
誰も戦争の結末を予測できなかった当時、金日成主席は祖国解放戦争での朝鮮人民の勝利を確信し、終戦後直ちに人民経済復興建設に着手できるようにその準備を推し進めた。
苛烈をきわめた戦争の最中、金日成主席の措置により数多くの戦闘員が大学に呼び戻され、前線に志願した留学生たちも当該国に帰って留学を続けた。
戦争の銃声や砲声を抑えながら、各学校で子供たちの本を読む声が高らかに響いた。
1951年から近代的な平壌市復興建設総計画図が作成され、牡丹峰地下劇場では首都の復興建設展望を示す展覧会が盛況のうちに行われた。
ほかにも科学者大会が開かれ、科学院と、働きながら学ぶ教育体系である工場大学が創立された。
また国の天然資源を調査し、それを合理的に利用するための研究が進められ、生産関係の社会主義的改造を目指す有利な条件も整った。
戦火の中で勝利した明日が設計される激動的な現実は、人民と人民軍将兵を鼓舞し、彼らの必勝の信念を募らせた。
アメリカ帝国主義は、朝鮮を廃虚と化して朝鮮人民を屈服させようとしたが、戦争の勝利を確信した人民の意志をくじくことはできなかった。

戦火の中で設計された平壌市復興建設総計画図

遺児たちと共にいる金日成主席　チュチェ40(1951)年2月

戦後復興建設の雄大な構想を練る
金日成主席　チュチェ40(1951)年10月

海軍留学生文書を承認する金日成主席　チュチェ40(1951)年12月

金日成総合大学の教職員、学生と共にいる金日成主席　チュチェ41(1952)年4月

農村を楽園に変える構想を示す
金日成主席
チュチェ41(1952)年5月

前線から母校に戻った金策工業大学（当時）の学生たち

戦傷栄誉軍人第1工業学校（当時）の学生たち

新義州教員大学の卒業生たち

学業に熱中する大学生たち

戦時環境でも中断することなく
勉強する学生たち

科学者大会に参加した科学者、技術者たち

ビナロンを研究する科学者たち

西海岸干潟地の測量作業を行う金日成総合大学の調査隊員たち

勝利した明日を見通してつくられる国営5号総合農場

戦争の最終的勝利を目指して

戦争の1年間にアメリカ帝国主義侵略者は挽回することのできない軍事的・政治的惨敗をこうむり、1951年6月に至って戦争を起こした38度線のあたりで動きがとれなくなってしまった。

しかしアメリカ帝国主義は侵略的野望を捨て切れず、引き続き兵力を増強しながら地上前線での突破と東西海岸への上陸作戦を試みた。

当面の情勢を科学的に分析した金日成主席は、積極的な陣地防衛戦を展開してすでに占めている界線を頑強に維持し、絶えず敵を打撃・掃滅する一方、時間を稼いで人民軍の戦闘力をいっそう強化し、後方をさらに強化することによって、戦争の最終的勝利を目指した全ての条件を確保するという戦略的方針（祖国解放戦争第4段階　1951･6･11～1953･7･27)を示した。

そうして、人民軍は1951年6月中旬から積極的な陣地防衛戦に移った。

主席は全前線にわたって防御陣地を坑道化するようにし、襲撃組活動、狙撃兵組活動、戦車狩り組運動、飛行機狩り組運動など独創的な戦法を編み出して敵に甚大な打撃を与えるようにした。

また、朝鮮労働党中央委員会第4回、第5回総会を招集して党を組織的、思想的にいっそう強化するための綱領的課題を提示し、その貫徹のための闘争を賢明に導いた。

そればかりでなく人民政権の機能と役割を強め、人民の生活を安定・向上させるとともに、戦時生産と前線支援活動が人民あげての活動として行われるようにした。

金日成主席の賢明な指導の下に1211高地防御戦闘、T字型高地戦闘、351高地攻撃戦闘をはじめ数回の作戦と戦闘が勝利のうちに行われることによって、アメリカ帝国主義侵略者が停戦会談の幕裏で強行した「夏期及び秋期攻勢」、「新攻勢」などあらゆる冒険的な「攻勢」と侵略企図は破綻し、敵は膝を屈せざるを得なくなった。

坑道作業場で軍人たちと話し合う金日成主席　チュチェ40(1951)年10月

朝鮮労働党中央委員会第4回総会

朝鮮労働党中央委員会第4回総会で報告を行う金日成主席　チュチェ40(1951)年11月

1951年11月、朝鮮労働党中央委員会第4回総会が行われた。

金日成主席は総会で行った歴史的な報告「党組織の組織活動におけるいくつかの欠陥について」と「党の組織活動の改善について」と題する結語で、党勢を拡大・強化し、広範な大衆を党の周りに結束させるための課題を提示した。

朝鮮労働党中央委員会第4回総会は、主体的な大衆的党建設路線に基づいて党勢を急速に拡大・強化し、党と大衆との血縁的なつながりを強めて戦争の勝利を目指す主体的革命力量を確保する上で大きな意義を持っている。

また、党建設と党活動において主体性を確立する上で重要な契機となった。

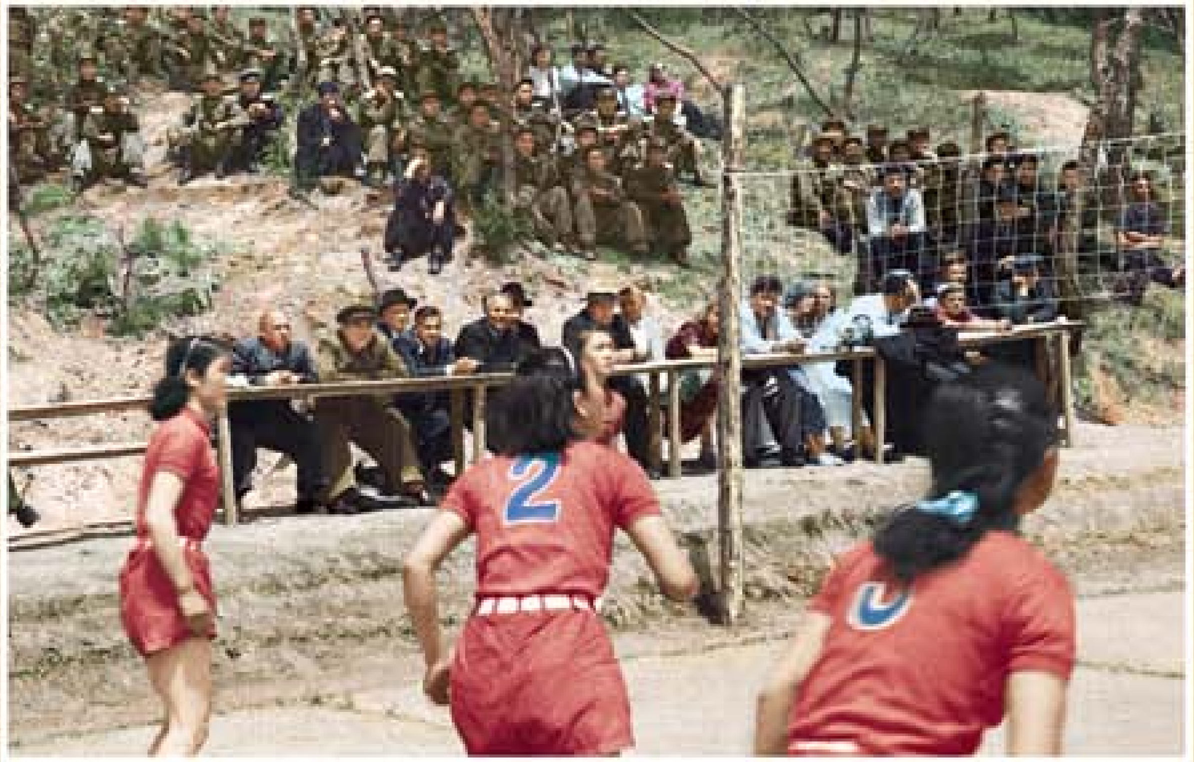
海軍武力の強化のために綱領的な指針を示す金日成主席　チュチェ40(1951)年12月

最高司令部の執務室にいる金日成主席　チュチェ41(1952)年5月

戦闘英雄たちと記念写真を撮る金日成主席
チュチェ41(1952)年1月

偵察区分隊の軍人たちに綱領的な指針を示す金日成主席　チュチェ41(1952)年6月

姜健軍官学校を視察する金日成主席　チュチェ41(1952)年6月



バレーボール試合を観る金日成主席　チュチェ41(1952)年5月

戦闘訓練の強化について述べる金日成主席　チュチェ41(1952)年6月

新たに装備された飛行機を見る金日成主席と金正日(キムジョンイル)国防委員長　チュチェ41(1952)年6月

朝鮮労働党中央委員会第5回総会で報告を行う金日成主席　チュチェ41(1952)年12月

朝鮮労働党中央委員会
第5回総会

1952年12月、朝鮮労働党中央委員会第5回総会が行われた。

金日成主席は総会で「党の組織的・思想的強化はわれわれの勝利の基礎」と題する歴史的な報告を行った。

主席は報告で、党中央委員会第4回総会以降の成果を総括し、党を組織的・思想的にいっそう強化するための綱領的課題を示した。

主席は総会で、「現軍事情勢と党、政権機関及び人民軍を強化するための問題」と題する歴史的な結語を述べた。

朝鮮労働党中央委員会第5回総会は党を組織的・思想的に強化する上で新たな転換をもたらし、全人民と人民軍将兵を戦争の最終的勝利を早めるための闘争へ奮起させた重要な契機となった。

朝鮮労働党中央委員会第5回総会を指導する金日成主席
チュチェ41(1952)年12月

朝鮮人民軍を不敗の隊伍に

政治講習に参加した軍官学校の学生たち

軍官講習所第2期開講式

作戦戦術講義を受ける高級軍官学校の学生たち

軍事規定に準じて
日課を実行する
特務長

特務長の役割を
強めるための
講習会

指揮能力を高めるための訓練に
熱中する軍官たち

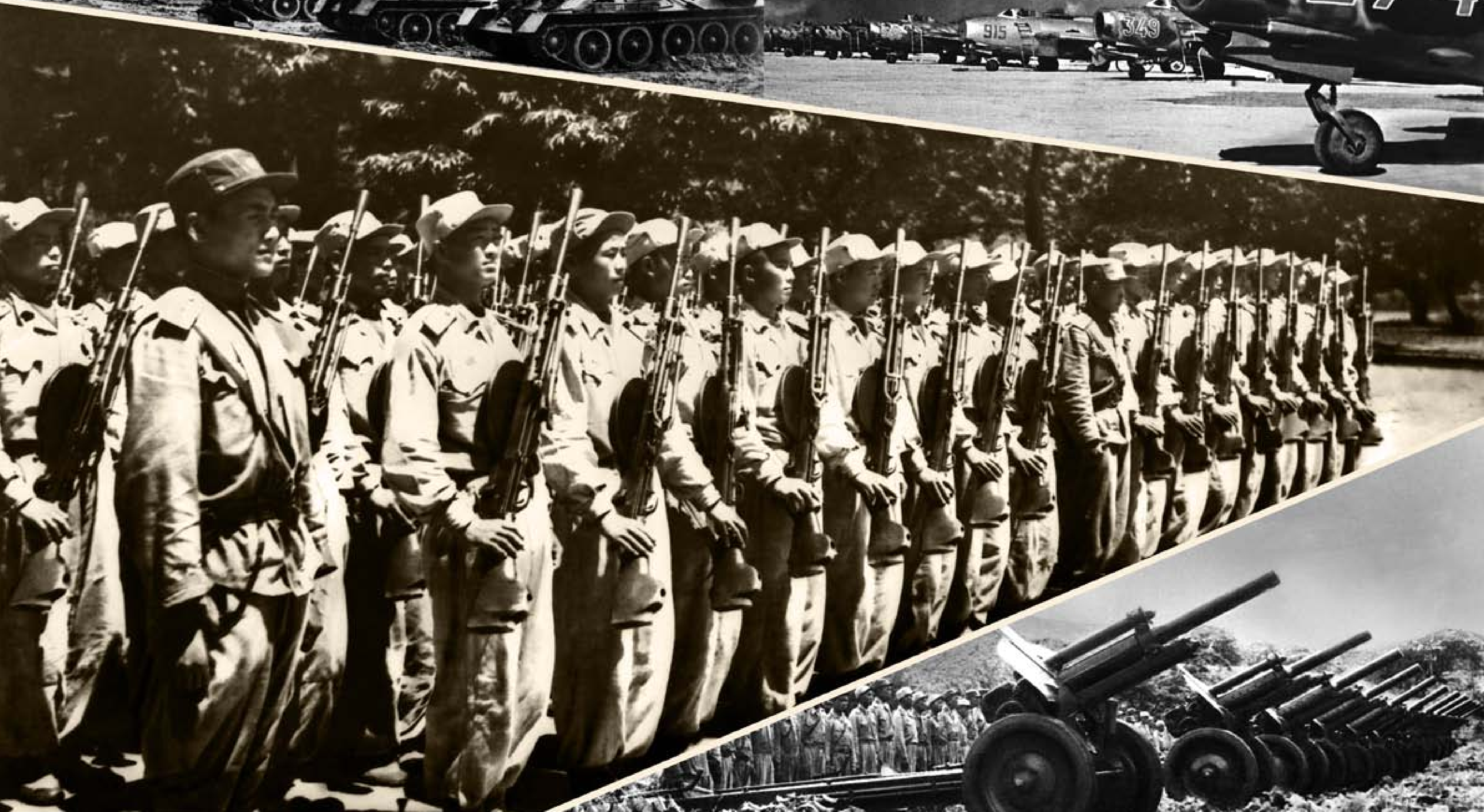
戦術訓練を行っている
人民軍戦闘員たち

砲射撃術を磨く人民軍戦闘員たち

艦砲の射撃原理を学ぶ海軍軍官学校の学生たち

飛行訓練に参加した空軍
軍官学校の学生たち

539
538
523

274
915
349


人民あげての前線支援運動、戦時生産、戦時輸送

自動短銃を生産する戦線作業班員たち

人民軍戦闘員たちに弾薬を運ぶ人民

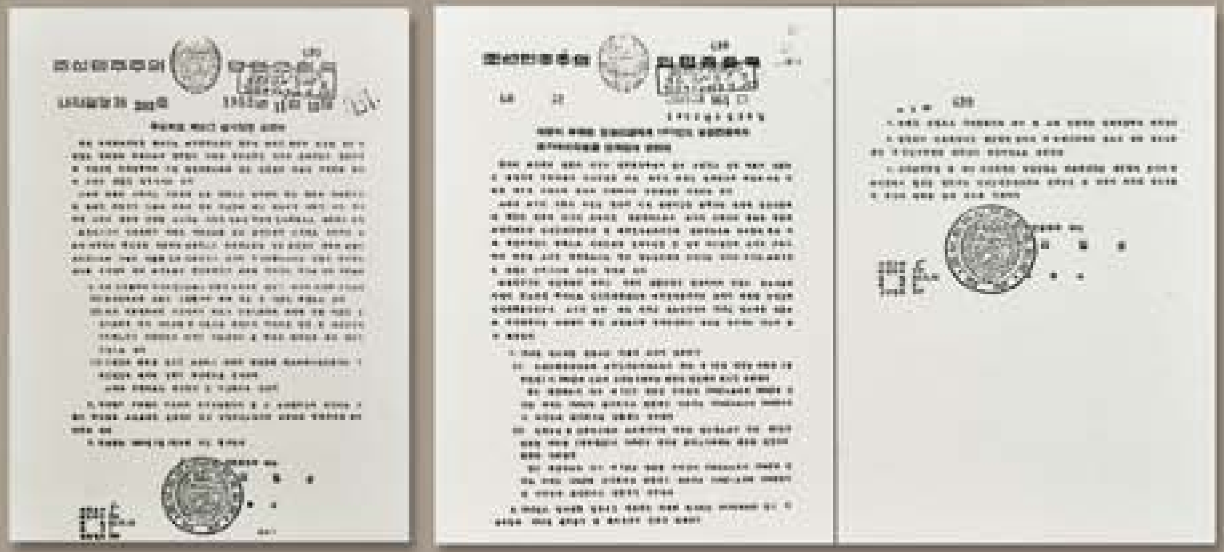
誠意を尽くして戦線援護米を用意する女性農民

広範に行われた女性犂取り運動

迫撃砲の生産を早める青年たち

戦時輸送を保障する輸送従事者たち

戦時の人民生活の安定



無料治療制の実施に関する朝鮮民主主義人民共和国内閣決定

農業現物税と国家貸与穀物の免除に関する朝鮮民主主義人民共和国内閣決定

無料治療の恩恵の下に予防接種を受ける子供たち

国家から役牛を提供されて喜ぶ農民たち

国家の関心の下にすくすくと育つ育児院の子供たち

国家から貸与米を受ける農民たち

チュチェ戦法の創造と活用

坑道戦法

堅固な坑道陣地で敵に命中砲火を浴びせる
砲兵たち

襲撃戦によって敵を掃討する人民軍戦闘員たち

敵陣に忍び入る襲撃組員たち

敵のトーチカを不意打ちする襲撃組員たち

襲撃組活動

島の敵を掃討するために上陸する襲撃組員たち

飛行機狩り組運動

敵機を撃墜した経験を語り合う
人民軍戦闘員たち

牛車の車輪で重機関銃射撃台を作って
敵機を撃墜する人民軍戦闘員たち

女性飛行機狩り組員たち

敵機に向かって射撃する高射砲兵たち

敵機を撃墜する人民軍戦闘員たち

戦車狩り組員講習に参加した人民軍戦闘員たち

敵の戦車集結場を襲撃する戦車狩り組員たち

戦車狩り組運動

敵戦車の機動路に対戦車地雷を埋設する戦車狩り組員たち

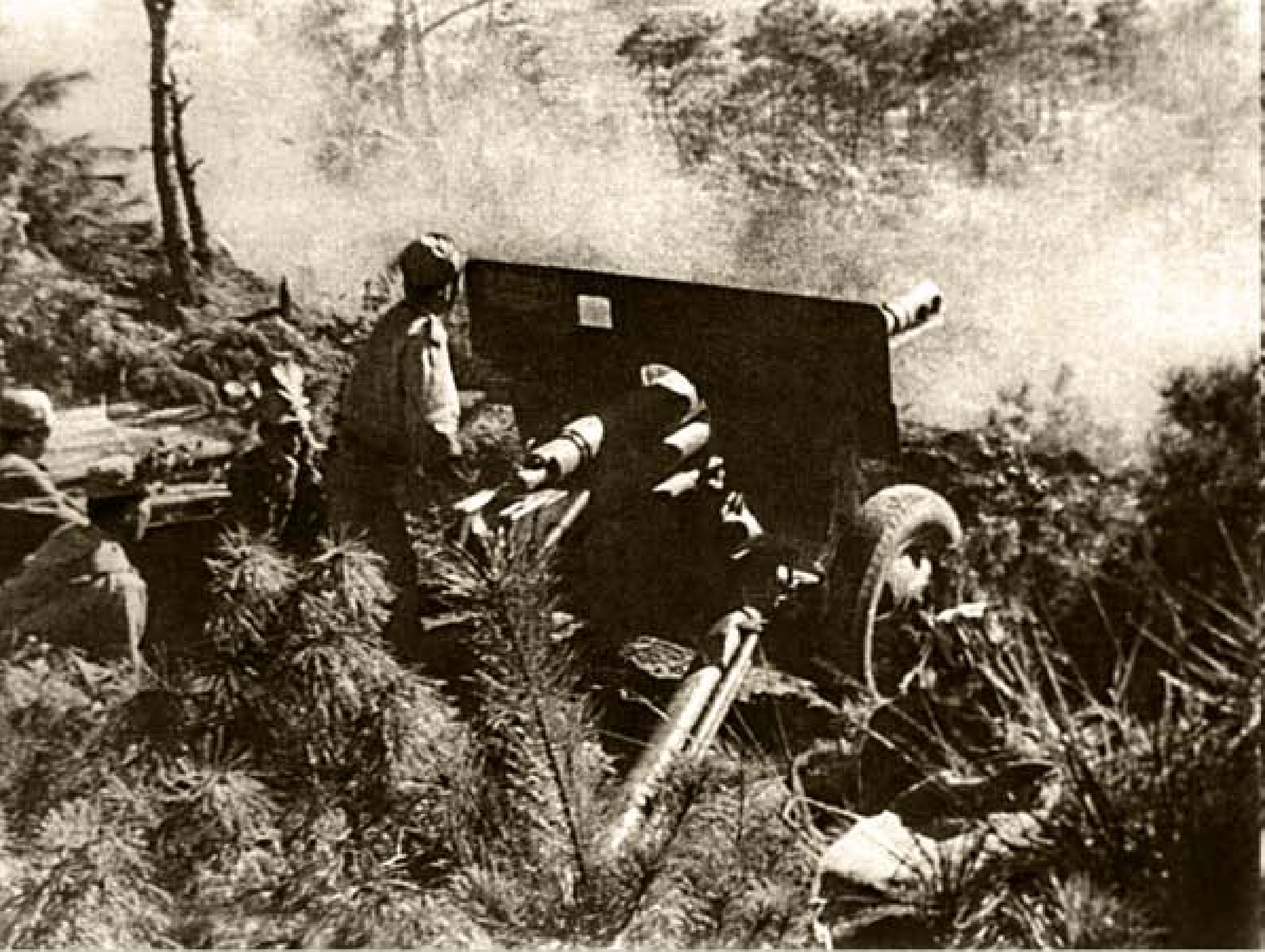
狙撃兵組活動

狙撃兵講習を受ける人民軍戦闘員たち

敵を一発の下に撃ち倒した経験を語り合う狙撃兵たち

敵に命中弾を浴びせる狙撃兵

銃弾一発に敵兵一人ずつ掃滅することを
呼びかける狙撃兵



独立重機関銃組と移動砲兵中隊（迫撃砲兵小隊）の活動

敵に猛射を浴びせる独立重機関銃組員たち

機動する高射砲兵たち

予備火力陣地へ移動する迫撃砲兵たち

敵の「夏期及び秋期攻勢」を撃破した1211高地防御戦闘

前線東部へと機動する人民軍戦闘員たち

火線公開党総会で1211高地を死守する決意を固める人民軍戦闘員たち

金日成主席への誓書に署名する1211高地防衛者たち

敵を撃退し、休息の一時を過ごす1211高地防衛者たち

戦法を討議する飛行士たち

戦闘任務を確定する飛行士たち

敵の「空中優勢」の粉砕

朝鮮人民軍飛行隊の積極的な活動と高射砲兵たちの対空火力によって、前線と後方の連携を阻もうとする敵の「焦土化作戦」「絞殺作戦」は破綻した。

敵の「新攻勢」企図の粉砕

アメリカ帝国主義は「新攻勢」の実現に有利な条件を整えるべく、鉄原西方のＴ字型高地に対する「模範戦闘」を準備し、ここに追随国の記者と参観団まで招き入れた。

しかし、「模範戦闘」は強力な砲兵火力と坑道に依拠した人民軍戦闘員たちの壊滅的打撃によって恥ずべき惨敗を喫した。

Ｔ字型高地戦闘はアメリカ帝国主義の「新攻勢」企図を根底から揺さぶった。

敵の「新攻勢」企図を打ち砕く決意を固める人民軍戦闘員たち

祖国の高地をあくまで守る決意を込めた誓書に署名する人民軍戦闘員たち

敵の連続的な攻撃を撃退する人民軍戦闘員たち

一夜のうちにＴ字型高地に迅速に機動して敵に集中砲火を浴びせる砲兵たち

戦争の勝利を早めた強力な打撃戦

朝鮮人民軍は、1953年5月中旬から7月下旬までの間に3回にわたる強力な打撃戦を繰り広げて、停戦会談で「栄誉ある停戦」を夢見ていたアメリカ帝国主義に決定的打撃を与え、戦争の勝利を早めた。

敵を攻撃する人民軍戦闘員たち

誓書に署名する人民軍戦闘員たち

攻撃戦を砲火力をもって支援する砲兵たち

敵の鉄条網を切ってルートを開く
工兵たち

トーチカを打ち壊す砲兵たち

偉大な勝利の7.27

1953年7月27日、朝鮮停戦協定が締結され、祖国解放戦争は朝鮮人民の勝利に終わった。

祖国解放戦争での勝利は、金日成主席の賢明な指導の下、朝鮮人民が透徹した祖国防衛精神と百折不撓の革命精神を身につけ、無比の勇敢さと献身性を発揮して獲得した歴史的勝利である。

苛烈な戦争の炎の中で共和国二重英雄をはじめ600人余の英雄が輩出し、14の人民軍連合部隊、部隊が近衛称号を授かった。

反面、世界「最強」を誇っていたアメリカ帝国主義の「強大さ」の神話は粉砕された。

アメリカ帝国主義が3日間で終えると豪語した朝鮮戦争は3年間も続き、重なる敗戦と共に敵の軍事技術的優勢は水の泡となった。

アメリカ帝国主義は朝鮮戦線に200万余の大兵力と最新装備を投入したが、第2次世界大戦の時期に太平洋戦争で受けた損失のほとんど2.3倍もの人的及び物的損失をこうむった。

祖国解放戦争で偉大な勝利を達成することによって、朝鮮人民は世界史上初めてアメリカ帝国主義を打ち負かした英雄的人民となった。

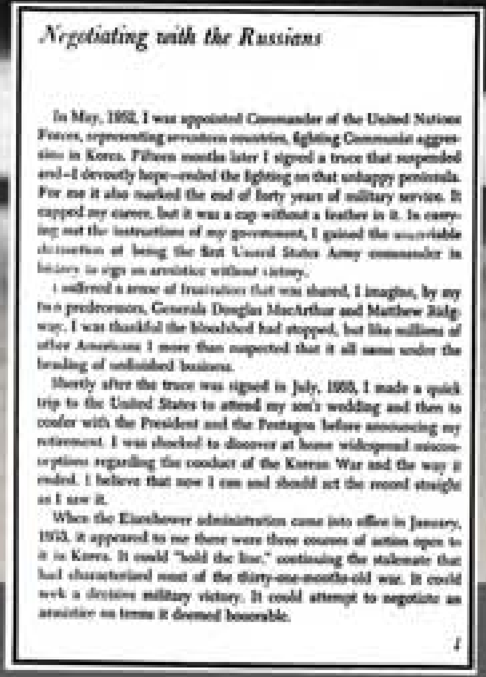
勝利の7・27、朝鮮の首都平壌の夜空には戦勝の花火が打ち上げられた。

祖国解放戦争の輝かしい勝利を
もたらした金日成主席
チュチェ42(1953)年7月

金日成主席が祖国解放戦争時期、前線と後方を
現地で指導した路程図

停戦会談の勝利のための
綱領的な指針を示す
金日成主席
チュチェ41(1952)年2月

停戦協定文書に最終サインをする金日成主席　チュチェ42(1953)年7月



Negotiating with the Russians

In May, 1952, I was appointed Commander of the United Nations Forces, representing seventeen countries, fighting Communist aggression in Korea. Fifteen months later I signed a truce that suspended and—I devoutly hope—ended the fighting on that unhappy peninsula. For me it also marked the end of forty years of military service. It capped my career, but it was a cap without a feather in it. In carrying out the instructions of my government, I gained the unenviable distinction of being the first United States Army commander in history to sign an armistice without victory.

I suffered a sense of frustration that was shared, I imagine, by my two predecessors, Generals Douglas MacArthur and Matthew Ridgway. I was thankful the bloodshed had stopped, but like millions of other Americans I more than suspected that it all came under the heading of unfinished business.

Shortly after the truce was signed in July, 1953, I made a quick trip to the United States to attend my son's wedding and then to confer with the President and the Pentagon before announcing my retirement. I was shocked to discover at home widespread misconceptions regarding the conduct of the Korean War and the way it ended. I believe that now I can and should set the record straight as I saw it.

When the Eisenhower administration came into office in January, 1953, it appeared to me there were three courses of action open to it in Korea. It could "hold the line," continuing the stalemate that had characterized most of the thirty-one-months-old war. It could seek a decisive military victory. It could attempt to negotiate an armistice on terms it deemed honorable.

1

「私は政府の指示を実行することで、歴史上勝利できなかった停戦協定に調印した最初の米軍司令官という不名誉の名前を帯びるようになった」
当時の「国連軍」司令官クラーク

停戦協定の調印式

トルーマン

「急速に終結された戦争という表現を、敗北によって急速に終結された戦争と直さなければならない」

元米大統領トルーマン

マーシャル

ブラッドレー

「神話は崩れた。われわれは他人が考えていたように、それほど強力な国ではなかった」

元米国務長官マーシャル

「朝鮮戦争は誤って選んだ場所で、誤って選んだ時に、誤って選んだ敵に対する誤った戦争である」

元米統合参謀本部議長ブラッドレー

祖国解放戦争における総合戦果

敵兵の殺傷及び捕虜　156万7128人
- 米軍　40万5498人
- かいらい軍　113万965人
- 追随国軍　3万665人

戦闘技術機材
- 飛行機
  - 鹵獲　11機、撃墜　5729機
  - 撃破　6484機
- 戦車
  - 鹵獲　374台、撃破　2690台
- 装甲車
  - 鹵獲　146台、撃破　45台
- 自動車
  - 鹵獲　9239台、撃破　4111台

艦船
- 撃沈　164隻、撃破　93隻

船舶
- 鹵獲　12隻、撃沈　163隻、撃破　132隻

各種の砲
- 鹵獲　6321門、撃破　1374門

各種の狙撃兵器　鹵獲　92万5152挺

火炎放射機　鹵獲　117挺

各種の通信機材　鹵獲　5788台

各種の砲弾　鹵獲　48万9260発

各種の弾丸　鹵獲　2124万5071発

各種の手榴弾　鹵獲　22万4123発

各種の地雷　鹵獲　1万4449個

各種の起重機　破壊　5台

祖国解放戦争の勝利を慶祝する平壌市大衆集会

祖国解放戦争の勝利を慶祝する平壌市民パレードに参加した
金日成総合大学の学生たち

祖国解放戦争の勝利を慶祝する平壌市民パレードに
参加した芸能人たち

祖国解放戦争の勝利を慶祝する平壌市大衆集会で演説する金日成主席　チュチェ42(1953)年7月

英雄的な朝鮮人民軍将兵と人民の歓呼に答礼する金日成主席　チュチェ42(1953)年8月

祖国解放戦争の勝利を慶祝する閲兵式

모든것을 민주기지강화를 위한 전후 인민경제복구발전 에로!

歩武堂々と行進する英雄的な朝鮮人民軍閲兵隊伍

祖国解放戦争では共和国二重英雄をはじめ600人余の英雄が輩出し、14の人民軍連合部隊、部隊が近衛称号を授かった。

613

1950年代の祖国防衛者の英雄的闘争精神は
代を継いで永遠に継承されるだろう

戦勝をもたらした

偉大な総帥

編　集: 金国哲
　文　: 林　玉
翻　訳: 李鮮日、金光哲

発行所: 外国文出版社
発行日: チュチェ112(2023)年7月

朝鮮民主主義人民共和国・外国文出版社
チュチェ112(2023)